

平成29年6月19日
島根県芸術文化センター「グラントワ」
(島根県立石見美術館)
企画広報課 担当：志田尾・坂根
電話：0856-31-1860
Fax：0856-31-1884

島根県立石見美術館
コレクション展「森鷗外の美術探訪」の開催について

島根県立石見美術館では、コレクション展「森鷗外の美術探訪」を下記の通りに開催いたします。

記

1. 会 期 6月21日(水)～7月31日(月)
休館日＝毎週火曜日
2. 会 場 島根県立石見美術館 展示室A(グラントワ内)
3. 展覧会概要及び見どころ

「学問の自由研究と芸術の自由発展とを妨げる国は栄えるはずがない」—1911年、「文芸の主義」でこう唱えたのは、明治の文豪として知られる森鷗外(本名・林太郎 1862-1922)です。

鷗外は近代化に向けて様々に変容する世の中で、学問と芸術の重要性を説きました。持ち前の鋭い観察眼と、西欧の文化に磨かれた審美感は、美術批評や文部省美術展覧会の審査員といった立場で生かされ、美術界の発展に大きな影響を与えました。

森鷗外の著作の挿絵を担当したのは、当時の美術界を牽引する人気の画家たちでした。和田英作、中村不折、長原止水(孝太郎)、平福百穂など、明治・大正時代を彩った彼らの画業を紹介し、鷗外をめぐる美術の世界を探訪します。

展示点数 約30点



長原孝太郎《風景》



蘆原緑子『ゴルフ漫画』



原田直次郎(画)「於母影」挿絵